

# 北斗石碑群

(ほくとせきひぐん)



【所在】

鷹栖町 14 線 16 号  
(北斗神社境内)

【指定年度】

昭和 5 4 年

【標柱建立】

平成 5 年

## 歴史的石碑の数々

開拓当時は高台地の火山灰地には、至る所に檜の群落を見ることが出来た。

戦後、機械化による地形の変化や地下水の低下を招き、原始時代の植生は失われ、各地の檜の疎林も次第とその姿を消している。

14 線 16 号に位置する北斗神社。かつて 15 線 15 号 3 番地にあったが、明治 38 年以前に現在地に移動している。祭神は天照皇大神で、祭日は 9 月 2 日である。北斗檜群落にも多数の檜の疎林があり、戦後の影響で本数が減少したが、中に宿生木（やどりぎ）を持つものもあり、貴重な時代を語るものとして保存され「北斗檜群落」として文化財史料に指定した。

しかし、時代の流れとともに檜の本数が減少してきたため、檜群落としての指定は解除となったが、歴史的に価値のある石碑が多数存在していることから、平成 30 年度に現名称へと変更している。